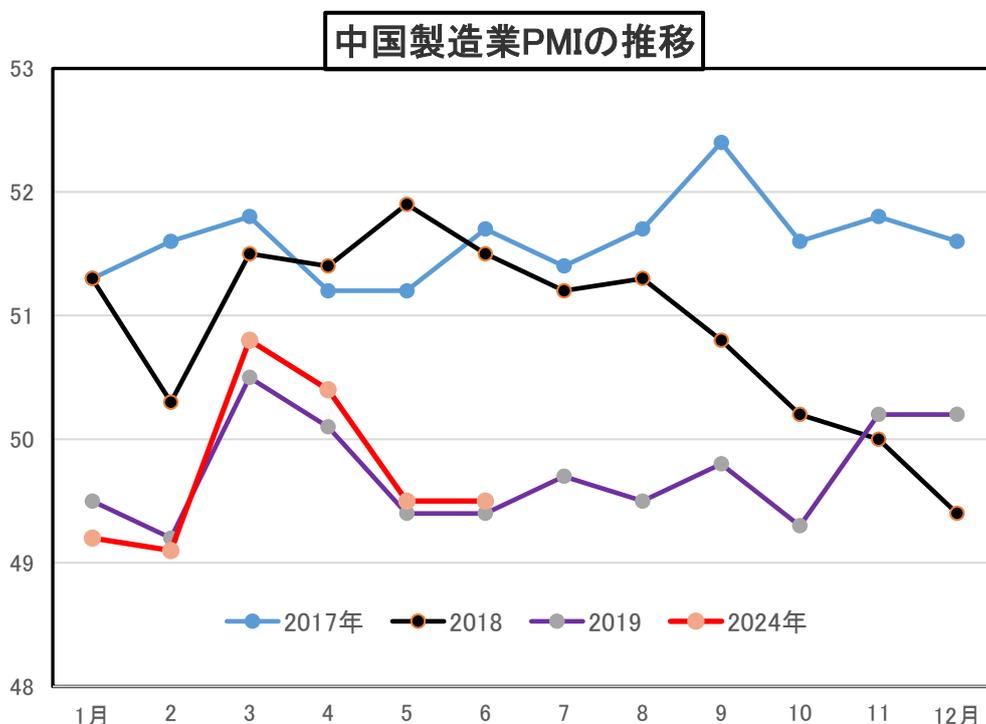


(中国) 国家統計局が発表した製造業 PMI は 2 か月連続で 50 割れ

2024 年 1～3 月期の中国の実質 GDP 成長率は前年比 5.3%、前期比 1.6%といずれも市場予想を上回った。しかし、6 月の製造業 PMI が 49.5 と 2 か月連続で景気判断の分岐点となる 50 を下回るなど、その後の景気は緩やかに減速しているとみられる。



(資料) 中国国家統計局、Windより作成。

6 月の製造業 PMI の内訳をみると、足元の生産の動きを示す生産は 50.6 と 5 月からやや低下したものの、4 か月連続で 50 を上回る水準で推移した。一方、新規受注は 49.5 と 2 か月連続の 50 割れとなったほか、新規輸出受注も 48.3 と 2 か月連続で 50 を下回った。製造業における供給がやや強く、需要が依然弱いという様子がうかがえる。

また、3 か月連続で上昇していた主要原材料の購買価格は 51.7 と 5 月 (同 56.9) から大きく低下したほか、出荷価格も 47.9 と 5 月 (同 50.4) から低下した。これらを踏まえると、購買価格の低下で企業のコスト負担がある程度軽減されるものの、需要不足で製品の出荷価格が下落に転じたことで企業の収益改善はそれほど進んでいないとみられる。

こうした状況を受けて、24 年の成長率目標 (5%前後) 達成への懸念が強まっている。まずは、7 月 15 日に 4～6 月期の GDP が発表される予定であり、その内容に注目したい。